

平成20年度資源評価票(ダイジェスト版)

標準和名 サメガレイ

学名 *Clidoderma asperrimum*

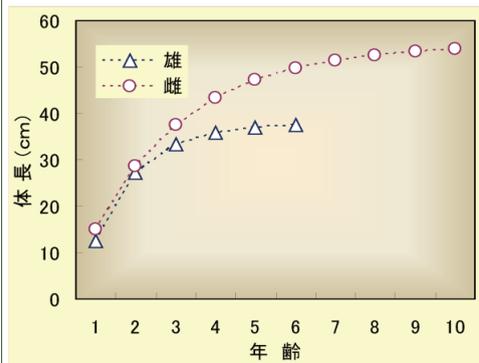
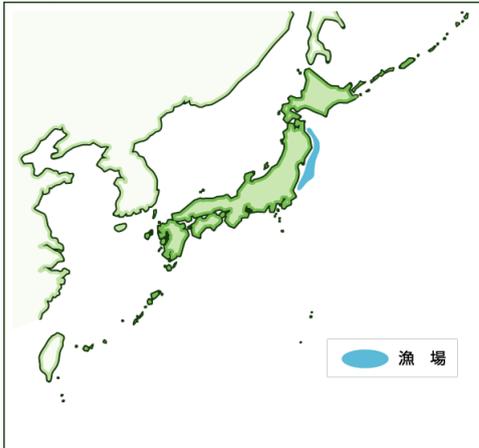
系群名 太平洋北部

担当水研 東北区水産研究所



生物学的特性

寿命: 雄9歳、雌13歳
 成熟開始年齢: 雄3歳、雌4歳
 産卵期・産卵場: 1~2月、水深600~900mの深海域
 索餌期・索餌場: 周年
 食性: クモヒトデ類
 捕食者: 不明

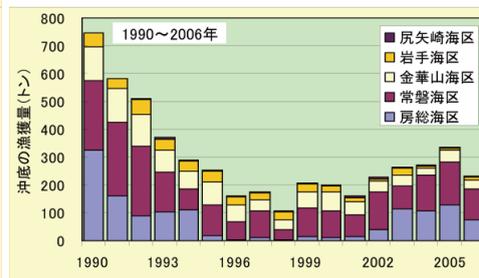
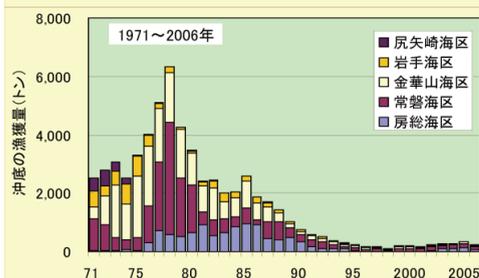
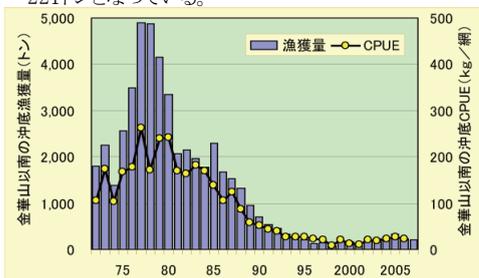


漁業の特徴

太平洋北部では、サメガレイは主に沖合底びき網漁業(沖底)により漁獲されており、他の漁業種類による漁獲量は極めて少ない。沖底の海区域別漁獲量をみると、金華山・常磐・房総海区(宮城~茨城県沖合)での漁獲量が大部分を占めている。また、サメガレイの漁獲は産卵期前後に集中しており、産卵親魚に対する漁獲圧が高いと推測されている。

漁獲の動向

沖底によるサメガレイの漁獲量は、1978年の6,329トンピークに減少を続け、1998年には最低水準の108トン記録した。その後、やや増加し、2005年の漁獲量は335トンとなったが、2006年には233トンと減少した。1997年以降は沖底以外の漁獲量も把握できており、2007年(暫定値)の漁獲量は沖底で217トンとなり、全漁業種類合計の漁獲量も221トンとなっている。



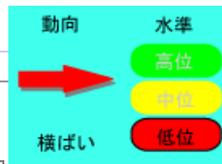
資源評価法

トロール調査による採集個体数は少なく、面積一密度法で資源量を推定することは困難な状況にある。そのため、漁獲量に加え、沖底の主要な漁場である金華山海区以南(金華山・常磐・房総海区)のCPUEの推移により資源評価を行った。

資源状態

現在の漁獲量は極めて少ない。CPUEの動向をみると、長期的には減少傾向にあり、現在の資源状態は低水準にあると考えられる。また、近5年のCPUEに増減傾向は認められず、横ばい傾向にあると判断される。以上のことから、サメ

ガレイの資源水準は低位にあり、資源動向は横ばい傾向と考えられる。

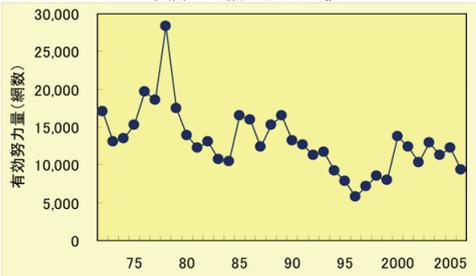


管理方策

漁獲が産卵親魚に集中していると考えられることから、努力量を現状より低く設定し、親魚量を増加させることが必要と考えられる。本報告では、親魚量を確保することを資源管理目標とし、近年の漁獲量の平均に0.8を乗じたものをABClimitとした。

	2009年漁獲量	管理基準	F値	漁獲割合
ABClimit	240トン	0.8Cave3-yr	—	—
ABCtarget	190トン	0.8・0.8Cave3-yr	—	—

- Caveは2004～2006年の平均
- ABCは10トン未満を四捨五入した値



資源評価のまとめ

- 資源は低水準にある
- 近年の資源は横ばい傾向にある
- 漁獲が産卵親魚に集中している

管理方策のまとめ

- 産卵親魚の確保が必要
- サメガレイが産卵のために集群している場所での操業自粛が必要

資源評価は毎年更新されます。